

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	でいじすまいる		
○保護者評価実施期間	令和6年10月21日	～	令和6年11月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和6年10月21日	～	令和6年11月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の特性に合わせた活動プログラム(個別課題・集団活動)を実施している	当日の児童の様子を学校の先生や保護者からヒアリングし、職員間で共有後臨機応変に課題を提供している また、集団活動は活動時までにリラックスできるよう心掛け活動中は児童同士の関わりを意識し、対戦型や協力型など全員参加できるよう取り組んでいる	個別支援計画を軸に、自立へのスモールステップを意識した課題を提供していく プログラムの立案が一部の職員に偏っているため、日々のコミュニケーションやミーティングで全職員がアイデアを出しやすくするよう取り組んでいる
2	児童館イベントや他事業所との交流、地域の交流を積極的に行っている	日頃から送迎時駐車場までの歩行訓練を行っているため、近隣地域の方への接触時に大きな声で挨拶をする等の関わりで児童たちの顔を覚えてもらっている 地域の方から情報を得て、児童館のお祭りに参加したり、交流のある他事業所の児童と合同でイベントを行っている また、子ども食堂の利用も行い食育にも取り組んでいる	他事業所との合同イベントは年1～2回ほどの開催だが、今後機会を増やせるよう企画内容を全職員で考案していく
3	日々の活動を連絡帳だけでなく毎日のブログを通して保護者に発信している	ブログでは活動内容の他に事業所での児童の表情を保護者に見ただけできるよう意識して撮影している 毎月のおたよりでは児童の写真を掲載し家族で振り返ってもらえるよう取り組んでいる	よりわかりやすく伝わるよう、撮影方法や文面に工夫した内容にしている

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流やイベント参加の周知が伝わりきれていない	どんなイベントに参加し、何をしたのか等内容まで周知できていない 事業所の近隣以外に居住する保護者にはどういった施設なのか伝わりづらい	事前に内容を記載した手紙を配布していたが、施設の写真やイラストなど視覚でも伝えられるよう構成を見直ししていく 当日の様子や掲載するブログについて保護者に直接アプローチし伝えていく
2	事業所内での保護者同士の交流機会が少ない	以前は企画・運営されていたが、感染症の流行等により断念せざるを得ない状況だった	感染症予防に配慮しながら、開催時期の見直しと併せて長期休暇時など親子参加型イベントや参観を企画していく
3	事故防止、災害対応等の緊急時対応マニュアルは整備されているものの保護者への周知にばらつきがある	マニュアルの複製を配布したが周知しきれていない状況 ツールの見直しが課題	各マニュアルを簡潔にまとめた書面を年度初めに一斉に配布する 安全計画に職員のマニュアル研修等明記していく